

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年4月28日

【評価実施概要】

事業所番号	0870101797		
法人名	原口商事株式会社		
事業所名	グループホーム暖		
所在地	茨城県水戸市小吹町267-87 (電話) 029-244-0022		
評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	水戸市千波町1918	茨城県総合福祉会館内	
訪問調査日	平成21年1月22日	評価確定日	平成21年4月27日

【情報提供票より】(平成20年12月12日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年12月26日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 8人, 非常勤 7人, 常勤換算	11.85人

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨造り		
	1階建ての ~ 1階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	無	有りの場合償却の有無	-
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,700 円		

(4) 利用者の概要(平成20年12月22日現在)

利用者人数	18 名	男性 9 名	女性 9 名
要介護1	4	要介護2	7
要介護3	3	要介護4	3
要介護5	1	要支援2	
年齢	平均 75 歳	最低 65 歳	最高 90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	原田医院 青柳病院
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営者や管理者、職員は利用者や家族の思いを真剣に受け止め、その立場になってお世話をするという基本理念を大切に日々サービスの質の向上に努めている。
職員は利用者との係わりを大切にし利用者が住みなれた地域で安心した暮らしができるよう地域の人々との連携や利用者の思いを大切にするために傾聴の姿勢で支援に努めている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価の課題を運営者や管理者、職員で話し合っているが、運営推進会議で委員や家族の代表と苦情内容について意見交換をすることや地域同業者の職員同士が交流すること、プライバシーの保護の観点で面会記録簿を1人1枚の様式に整備すること、災害時のマニュアルを活かして地域の人々の協力を得ることや食品の備蓄などに引き続き改善が望まれる。</p> <p>なお、金銭出納帳に家族の押印をもらうこと、利用者の思いを把握して記録すること、ユニット間で入浴時間をずらすこと、利用者の状態を把握して介護計画を見直すこと、利用者の体調の変化を知るために食事や水分の摂取量を記録することなどは改善している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営者や管理者は外部評価の意義や目的を理解しており、自己評価での気付きをサービスの質の向上に活かすとともに、職員に自己評価をしてもらい外部評価の意義や目的の意識付けをしている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1回開催しているがホームの状況や行事の報告になりがちなので、今後は運営推進会議の委員の選任を見直し、運営に関する意見交換を行うとともに、サービスの質の向上に活かすことを期待する。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>相談や苦情の内容を記録する書式を作成しているが活用するまでには至っていないので、家族等の訪問時の記録ばかりではなく、無記名によるアンケートの実施や家族会開催時に家族の意見を聴取してサービスの質の向上に活かすことを期待する。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会に加入し地域主催の祭りに参加したり事業所の前にある畑で地域の人から農作業の指導を受けるなどの交流はあるが、地域の人々と日常的な交流をしていないので、参加型の地域交流ばかりではなく、事業所の存在をパンフレットやホーム便りで積極的にアピールすることを期待する。</p>

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	住み慣れた地域で安心した暮らし、地域の人々との関係性の継続、地域生活の継続を支えるため利用者の思いを大切にすると理念を掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各ユニットの目立つ場所に理念を掲示するとともに、朝の申し送り時に全職員で復唱し共有している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し地域主催の祭りに参加したり事業所の前にある畑で地域の人から農作業の指導を受けるなどの交流はあるが、地域の人たちと日常的な交流をしていない。	○	参加型の地域交流ばかりではなく事業所の存在をパンフレットやホーム便りで積極的にアピールすることを期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の課題を運営者や管理者、職員で話し合いサービスの質の向上に活かしている。 また、職員に自己評価をしてもらい外部評価の意義や目的の意識付けをしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回開催しているがホームの状況や行事の報告になりがちである。	○	今後は運営推進会議の委員の選任を見直し、運営に関する意見交換を行うとともにサービスの質の向上に活かすことを期待する。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の介護相談員を受け入れ、担当者と意見交換を行っているが十分とはいえない。	○	事故などの防止策や書類上不明な点があった場合は、直接市の担当部署を訪ねたり担当者にホームに来てもらうなどで解決に努めることを期待する。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	職員は利用者の日常の様子を毎月家族に手紙で報告している。 金銭管理は利用者一人ひとりの出納帳を作成し家族の了解を得るとともに押印をもらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談や苦情の内容を記録する書式を作成しているが活用するまでには至っていない。	○	家族等の訪問時の記録ばかりではなく、無記名によるアンケートの実施や家族会開催時に家族の意見を聴取してサービスの質の向上に活かすことを期待する。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	基本的には各ユニットの職員を固定しているが、他のユニットにも勤務し顔馴染みによるケアを心がけている。	○	やむを得ず異動や離職が生じた場合も引継ぎ時に最善の努力をし、利用者や家族との信頼関係を築くことを期待する。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は職員の勤務状態や経歴に応じて各種外部研修に参加させるとともに、介護支援専門員などの資格習得の場合は、勤務や経済負担に配慮している。	○	研修を受講した職員は研修結果を会議等で報告するなど内部研修を充実して職員が共有することを期待する。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホーム協議会に入会し、近隣施設との相互訪問活動をしながらサービスの質の向上に努めているが職員間で交流するまでには至っていない。	○	職員が外部研修に参加したり地域の同業者と交流するなどサービスの質の向上に活かすことを期待する。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用開始にあたり管理者は利用希望者や家族等と面会し、状態や要望を把握するとともにホームの雰囲気や職員、他の利用者や接する体験の機会を設けているほか体験宿泊も受け入れている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	手芸クラブで人形を作ったり、おしゃれクラブでお化粧をしたり、料理クラブで料理を作るなど利用者と職員は一緒に楽しんで過ごしている。 職員は利用者が人生の先輩であることを念頭におき接するとともに家庭的な雰囲気づくりに努めている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は日常生活のなかで利用者一人ひとりの思いや希望の把握に努めるとともに記録に残し、どんな暮らしが最良なのかを常に考えながら支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族等の希望を聴くとともに職員や担当医、看護師の意見を取り入れ、ケース検討会議を行い利用者本意の介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	管理者や計画作成担当者は利用者の介護支援の重要性を理解しており、利用者一人ひとりの変化を日々把握し、必要に応じて現状に即した介護計画に見直している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	訪問看護ステーションと医療連携をとり、医療に関する相談に24時間体制で対応している。 提携している医師が週1回往診している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関を確保するとともに利用者や家族の希望を確認し、かかりつけ医に継続して受診ができるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期のケアについて医師や運営者、管理者、職員で話し合うとともに勉強会を行なっている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者の誇りやプライバシーを損ねないよう態度や言葉遣いに心がけているが十分に徹底するまでには至っていない。	○	一人ひとりのプライバシー保護を徹底するとともに、面会の記録を利用者毎に1人1枚の形式に整備することを期待する。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしさを大切にいたしますとの理念に基づき職員は利用者一人ひとりのその日の希望を聴くとともに、利用者の体調を考慮しながら利用者のペースに合わせて支援している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者は食事の準備や後片付けを職員と一緒にしている。 また、職員は利用者の中に座り見守りながら一緒に食事をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ユニット間で入浴日をずらし基本的に毎日入浴ができるよう支援している。 入浴を拒む利用者には言葉かけをしたり話し合いをして入浴してもらえよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は植物への水遣りや掃除、テーブルの片付け、洗濯物の整理、習字の練習、塗り絵、カラオケなど利用者ができることや興味があることを一緒に楽しみ支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くの植物公園への散歩やスーパーでの買い物など利用者の意向を把握して外出支援をしている。 また、お花見や夏祭り、菊祭りなど地域のイベントにも参加している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者は利用者の身に危険が及ばない限り玄関の鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指導により避難訓練を実施するとともに災害時のマニュアルを作成しているが地域の人々の協力を得るまでには至っていない。	○	地域の人々の協力を得たり夜間における訓練を実施するとともに、災害時に備えて食糧品等の備蓄を検討することが望まれる。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量を毎回記録している。水分が上手に取れない利用者にはヨーグルト、プリン、アイスクリーム、パンを牛乳に浸して提供するなどの支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間の出窓に植物を置いたり、ブラインドカーテンを利用して陽光を調節するなど工夫をしている。 また、一段高くなった畳のスペースやところどころにソファを設置し、利用者が思い思いの場所で過ごせるよう配慮している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は使い慣れた筆筒やぬいぐるみを置いたりプランターで花の栽培を楽しむとともに利用者が書いた習字等を飾るなどして居心地良く生活ができるよう支援している。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。